

市議会全員協議会

会期中に開催された 2回の全員協議会についてのご報告

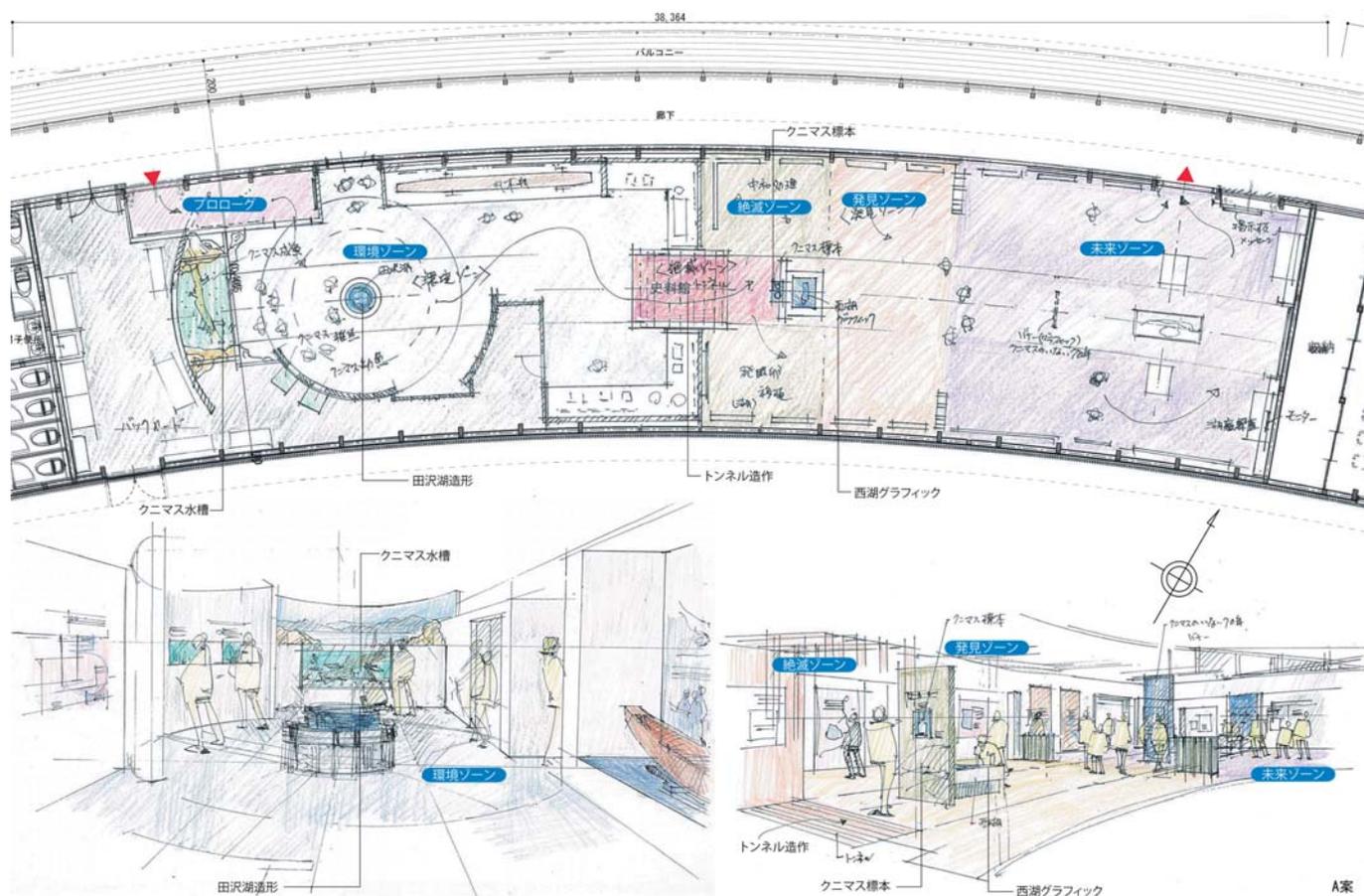
9月26日

田沢湖再生クニマス里帰りプロジェクトの経過

9月26日、秋田県との協働プログラムとして市がこれまで進めている「田沢湖再生クニマス里帰りプロジェクト」についての経過説明のため、議会全員協議会が開催されました。

クニマス未来館の設計や、田沢湖の湖底調査などについて報告されています。田沢湖大沢地区に来春着工予定

(2017年春開館予定)のクニマス未来館は、現在実施設計が行われています。山梨県からクニマスを譲り受け、水槽で飼育する他、田沢湖の歴史やかつてのクニマス漁に関する資料なども展示する運びとなっています。また、秋田大学等の研究室も設置し、田沢湖再生やクニマスに関する研究が実施される予定です。



2017年春オープン予定のクニマス未来館(イメージ)

9月29日

市職員の贈収賄事件に関する緊急報告

9月29日、緊急の議会全員協議会が招集され、門脇市長より、29日未明に贈収賄容疑のため市職員が県警により逮捕された事件について経過説明がなされました。

内容は次の通りです。市議会では、翌日30日の本会議で原因究明と再発防止を求める決議を全会一致で議決しました。

これまでの事件経緯について(門脇市長より)

- ◆ 29日深夜12時頃、警察から仙北市市民福祉部市民生活課環境保全係の金谷頼輝係長を収賄の容疑で逮捕したと連絡があった。
- ◆ 逮捕容疑は、市が発注した最終処分場の水処理業務委託で、テーケー・アクティブ株式会社の古山徹社長から国内旅行代140万円の供与を受けたというもの。
- ◆ 同時に関係各所に家宅捜索に入りたいので、立会いの職員を出してほしいという要請があり、これに対応した。市の家宅捜索は、環境保全センター、角館庁舎、田沢湖庁舎の3箇所。
- ◆ 仙台市青葉区に所在するテーケー・アクティブ株式会社は、仙北市内の最終処分場3箇所と環境保全センターなどで、汚水の水処理業務に当たっていた。平成25年から5年契約の長期委託を市の随意契約で締結しているが、この管理業務を受託した見返りとして、今年と昨年の2回にわたり140万円相当の国内旅行代金を供与した疑いと聞いている。
- ◆ その後、午前3時から西木庁舎において、緊急記者会見を行っている。市長、副市長、総務部長、市民福祉部長が対応した。新聞5社、テレビ局4社が参加して4時頃まで記者会見を行った。
- ◆ 午前8時から部長等会議を緊急に開催して、経過の報告と今後の対応等を確認した。その後、全職員に対し、服務規律の確保と綱紀粛正について、回覧文書にて発信し、注意を促している。
- ◆ 午前9時までには県警の捜索が終了している。県警に押収された資料は、田沢湖庁舎で290件、角館庁舎で70件、環境保全センターで368件となっている。
- ◆ 午後1時30分からは最終処分場3箇所の捜索に入るということで、これについても担当職員が立ち会っており、捜索は終了している。
- ◆ 押収された書類が多数にわたっており、市として、今回の事案に関係する事項の確認ができない部分が多々ある。現在、捜査が進行中の事件であり、また関係書類が押収されている中で、憶測等での発言は好ましくないという判断から、報告は現状で知り得ている範囲のものである。
- ◆ 今後、市として再発防止策の検討と合わせ、随意契約の課題の洗い出しなどを行う必要があると考えている。まずは捜査への全面協力をを行いながら、捜査の進展にもよるが、逮捕された職員に対する処分も検討しなければならない状況にある。
- ◆ 事件の発生で、市民の皆様に対し、大変なご心痛と、行政に対する不信感を与えてしまったことは、本当に残念である。心からお詫びをしなければいけない事態である。本当に申し訳ありませんでした。

